

December
2023

Okuwaizumi

奥会津のすごい！が見つかる情報誌

つなぐ奥会津

奥会津7町村



柳津町で赤べこを探せ！ P4

グレンデグルメ7選 P5

奥会津の冬イベント P6

特集

意外と知らない!? 奥会津の除雪



意外と知らない!? 奥会津の除雪

つなぐ奥会津

豪雪地帯・奥会津で働く除雪車のオペレーターにインタビュー!!
今回は、昭和村で除雪を手がける3名の方にお話をうかがいました。

私たちは3人は本業は農家
実はカスミノさんです



入倉 健至さん
茨城県出身 / 除雪歴1年目

長谷川 洋さん
会津若松市出身 / 除雪歴13年目

本名 正則さん
昭和村出身 / 除雪歴7年目



長谷川（以下、長）：昭和村の除雪作業には、いろいろな人が関わっているんですが、私たち3人は春から秋までの間は昭和村特産のカスミノウを育てる農家をしています。冬は農作業が落ち着くので、除雪車のオペレーターとして働いています。

入倉（以下、入）：私は除雪を始め、まだ数カ月です。ベテランのオペレーターとペアになって除雪車に乗り、操作のコツを教わったりアドバイスをもらったりして、少しずつ実務の経験を積んでいるところです。

長：除雪のために、みんな大型特殊免許を取り、講習会に参加して勉強したんですよ。実は除雪は本業とも関わりがありません。カスミノウを収穫してから出荷するまでの数日間、涼しい環境で花を貯蔵する施設が村内にあるのですが、その施設は通称「雪室」と呼ばれ、10トトラック約300台分の雪を2月に除雪車で運び込んで、約1年分の冷源として活用しています。

本名（以下、本）：除雪の仕事は、天気の確認から始まります。天気予報は毎日小まめにチェック

こんなにあります！ 主な除雪車の種類

奥会津の中でも積雪の多いエリア（南会津町・只見町・檜枝岐村）で国道・県道の除雪を管理する福島県 山口土木事務所の服部さんと酒井さんにお聞きしました。



服部 隆行さん



ドーザー

道路に積もった雪や、路面上の圧雪を車道の左側に寄せます。各地で広く使われているタイプの除雪車です。



こんなに大きい！

2

ロータリー

ドーザーが車道の左側に寄せた雪を、前方の回転式集雪口から吸い込み、路外に投雪します。



3

凍結抑制剤散布車

後方のタンクに入った塩化ナトリウムを道路に散布します。写真は前にプラウ（除雪板）が付いた特別車両。



4 グレーダー

前方の除雪板で除雪しながら、中間のブレードで路面の圧雪を取り除きます。



5 小型ロータリー

主に歩道の除雪時に使用します。



酒井 祐世さん

山口土木事務所は計55台の除雪機械を所有しています！

つなぐ奥会津

雪国ならではのアレコレ

消雪パイプ (三島町)

地中に埋め込んだパイプから水を散布して、路面の凍結を防いだり、雪を溶かしたりする地域もあります。



ここから水が出ます



縦型の信号機 (三島町)

雪が積もりにくい縦型の信号機は雪国に多いそうです。



除雪機械始動式 (只見町)

除雪シーズン前の10～11月頃、安全祈願を兼ねた除雪機械始動式を行う自治体もあります。

インタビューの動画を見る



奥会津歳時記の郷
YouTube

しますし、毎晩午前2時頃に一度起きて外の状況を確認するんです。積もっていたら午前3時頃から7～8時頃まで除雪作業を行います。大雪の日は昼までかかることもありますし、昼もどんだん降り続くようならまた出勤する必要がありますので、冬はプライベートで出かける予定をなかなか立てられないのがちょっと大変なところですかね。それでも地元の人に「キレイに除雪してるね」とか「ありがと」と喜んでもらえる、やりがいを感じます。

入：私は、2023年に開通した博士トンネルまでのルートを担当するので、今後どんな大雪を経験するんだろうとドキドキしています。

長：これからの担当若手には期待しています。大事に育てていくので、一步一步成長してくれるらと思います。

本：仲良く助け合ってやっていこう！

ささちゃん memo

赤ベことは？

赤い牛の姿をした、会津生まれの張り子の郷土玩具。頭に触れるとゆらゆらと首を振る動きがかわいいんです！ 赤ベこは柳津町に残る赤ベこ伝説をもとに、会津の張り子職人が生み出したと言われています。また、疫病除けや厄除けの縁起物としても親しまれています。

赤ベこ伝説とは？

今から400年ほど前、大地震で被災した現柳津町の虚空藏堂を再建する際、力の強そうな赤毛の牛の群れがどこからともなく現れ、木材運搬に苦勞していた黒毛の牛を助けたことで見事に再建できた…と伝えられています。

CJ Monmo コラボ!

ダイジェスト版

柳津町で赤ベこを探せ!

この記事を書いたのは…

CJ Monmo 編集部
ささちゃん



入社1年目の新人編集者。寝ることおもしろいごはんを食べることが趣味。社会人2年目となる2024年は前年以上に仕事を頑張れるよう、福島県の縁起物をゲットすることにしました。そこで目を付けたのが、福島県内外で人気の赤ベこです!

福島県のタウン情報誌「月刊CJ Monmo(シー Джей・モンモ)」の若手スタッフが奥会津にお出かけ! 今回は、赤ベこ伝説発祥の地である柳津町へ赤ベこを探しに出かけました。

AKABEKO

これぞ赤ベこワンダーランド

柳津町には赤ベこがたくさん!

きよひめ公園で発見!

赤ベこファミリーは全部で5体。父・母・長男・長女・末っ子が町内各地に出没中。探してみてください!



赤ベこファミリーの父・福太郎

柳津町役場で発見!



役場前に鎮座する赤ベこの巨大モニュメント

高さ1.8m

道の駅会津柳津で発見!



ポストの上に赤ベこ像!

おみやげにゲットしました!



観光物産館 清柳苑で発見!

やないづ張り子工房 Hitaritoのべこ

Hitaritoの工房は2024年春にJR只見線会津柳津駅舎内にグランドオープン予定。絵付け体験などができるそうなので今から楽しみです!

役場入口の自動ドアにも赤ベこ! かわいい~!



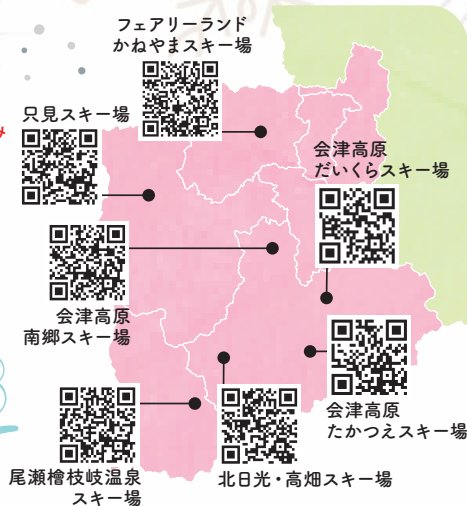
もっと見る?

「柳津町で赤ベこを探せ!」フルバージョンはCJ Monmo Webをご覧ください。



2023年
12月23日(土)
ゲレンデ
オープン!
冬こそ食べたい!
ゲレンデ
グルメ 7選

※
たかつえ
スキー場のみ
12/22(金)
OPEN



豪雪地帯の奥会津には、7つのスキー場が点在しています。スキーやスノーボードが楽しめるのはもちろんですが、食事だけのご利用も可能です。そこで今回は、各スキー場おすすめのゲレンデグルメをご紹介します。



金山町
フェアリーランドかねやまスキー場
山頂から磐梯山や朝日連峰の絶景が堪能できるスキー場です。レストハウスでは、妖精の里・金山町にちなんで名付けた「フェアリーラーメン」がおすすめ。ラーメンにとんかつを乗せた人気 No.1 メニューです。

福島県大沼郡金山町
小栗山宇上野2339
TEL 0241-54-2022



只見町

只見スキー場

雪と親しむイベントも開催する、ファミリーにおすすめの小さなスキー場。通年で営業している「レストランやまびこ」では、只見産トマトを使った「トマトラーメン」を数量限定で提供。女性に特に人気のメニューです。

福島県南会津郡只見町
只見字田ノ口24
TEL 0241-82-2304



南会津町

会津高原 南郷スキー場

充実のパークコースがスノーボーダーに人気のスキー場。自慢のハーフパイプをライスで模した「ハーフパイプカツカレー」は、大きなカツで「競技に勝つ!」の願いを込めました。さあ、秘境の豪雪楽園・南郷にGO!

福島県南会津郡南会津町
界字湯の入293
TEL 0241-73-2111



南会津町

会津高原 だいくらスキー場

駐車場からゲレンデまで最短30秒!コンパクトながら全12コースを有するスキー場です。お客さまの要望で復活した「ハムカツ定食」は、食べ応えのある驚きの厚さが大好評!第1ロッジ食堂で味わえます。

福島県南会津郡南会津町
針生字
屋滝山857-150
TEL 0241-64-2121



檜枝岐村

尾瀬檜枝岐温泉スキー場

綺麗な圧雪コースと、パウダースノーが楽しめる非圧雪コースを擁する上級者向けスキー場。昼食はゲレンデのお向かいにある道の駅の食事処「水芭蕉」で!檜枝岐産の食材を使った「鴨けんちんそば」が人気です。

福島県南会津郡檜枝岐村
字見通
TEL 0241-75-2351(スキー場)
TEL 0241-75-2226(食事処)



南会津町

北日光・高畑スキー場

2022年からスノーボード解禁!3.5kmの変化に富んだコースとふわふわのパウダーランが楽しめます。センターハウスのレストランでは、今シーズンリニューアルした「から揚げ定食」がイチ押し!

福島県南会津郡南会津町
大桃字
一の間々20-3
TEL 0241-76-2231



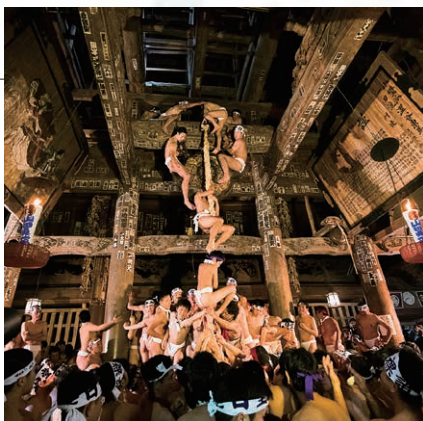
南会津町

会津高原 たかつえスキー場

東北屈指のビッグゲレンデと極上のパウダースノーが自慢のスキー場。「レストランオーロラ」のおすすめメニューは、地元産エゴマ(じゅうねん)の風味が効いた担々麺。ピリ辛スープで心も体もポカポカになれます。

福島県南会津郡南会津町
高杖原535
TEL 0241-78-2220





柳津町

ななかどうはたかまい
七日堂裸詣り

とき 1月7日(日) 20:30～

ところ 福満虚空藏菩薩圓藏寺 本堂
(福島県河沼郡柳津町柳津寺家町甲176)

只見川に棲む竜神を民衆の力で追い払ったという伝説にちなんだ寺行事。街じゅうにかがり火が揺らめく中、下帯姿の男たちが大鐘を合図に石段を駆け上がり、圓藏寺の菊光堂（本堂）につるされた大鰐口を目指して綱をよじ登ります。その勇ましい姿に魅了され、多くの観光客が足を運びます。

圖 柳津観光協会 TEL 0241-42-2346



奥会津の
冬イベント

2024年1～2月

掲載の情報は2023年12月時点のものです。変更となる場合がございますので、お出かけの際はお問い合わせ先にご確認ください。

つなぐ奥会津



柳津町

第44回会津
やないづ冬まつり

とき 2月3日(土) 10:00～20:00予定

ところ 道の駅会津柳津 ほか
(福島県河沼郡柳津町柳津字下平乙)

柳津の風俗や風習を子孫に伝えるため、圓藏寺の御神火で点火する「歳の神」や、歳の神のまわりを提灯行列で行進して一年の豊作を願う「鳥追い」などが行われます。模擬店でのグルメや民芸品の販売のほか、各種展示も実施予定です。

圖 会津やないづ冬まつり実行委員会
(柳津町役場 地域振興課内) TEL 0241-42-2114



柳津町

やないづ
手づくり市

とき 毎月第4日曜 10:00～15:00
※開催日は変更となる場合があります

ところ 赤べこ通り商店街 無料休憩所
(福島県河沼郡柳津町柳津寺家町甲)

毎月開催される小さなハンドメイドマルシェ。木工雑貨やアクセサリなどの手工芸品から、ハンドドリップコーヒーなどのグルメまで、会津を中心としたさまざまな手づくりの商品に出会えます。ハンドメイド作家の皆さんとの会話も楽しめる、アットホームな雰囲気の魅力のイベントです。

圖 木工房 MEGURO TEL 090-5234-2314



三島町
第51回
雪と火のまつり

とき 2月17日(土)

ところ 三島町町民運動場
(福島県大沼郡三島町大登字寺沢976)

国の重要無形文化財に指定されている「三島のサイノカミ」や、団子さし、鳥追いなどの冬の伝統行事を再現します。御神木にワラを巻きつけて作ったサイノカミに点火し、五穀豊穡や無病息災などを祈願するほか、サイノカミの炎と花火の競演、雪遊びイベントやグルメ出店、福福抽選会などを予定しています。

☎ 三島町観光協会 TEL 0241-48-5000



只見町
第51回只見
ふるさとの雪まつり

とき 2月9日(金) 前夜祭
2月10日(土)・11日(日) 本祭

ところ 只見線広場
(福島県南会津郡只見町只見字雨堤1018-1)

大雪像を背景にさまざまなステージショーが繰り広げられます。会場ではおいしいグルメが味わえるほか、豊作や無病息災を祈る伝統行事「おんべ」(歳の神)、第1回おむすびぐらんプリ、祈願花火大会も開催します。

☎ 雪まつり実行委員会事務局
(只見町役場 交流推進課内) TEL 0241-82-5240



昭和村
第39回からむし織の里
雪まつり

とき 2月25日(日)

ところ 道の駅からむし織の里しょうわ
(福島県大沼郡昭和村佐倉字上ノ原1)

「雪国の伝統・暮らし・遊びにふれる」がテーマの雪まつり。国の伝統的工芸品に指定されている「からむし織」の糸づくりや機織りをはじめ、水に浸したからむし織を雪上に広げて白くしなやかにする「雪ざらし」などの実演を行います。団子さし体験やグルメ・工芸品の出店も予定しています。

☎ 昭和村観光協会 TEL 0241-57-3700



金山町
第46回会津かねやま
雪まつり

とき 2月18日(日)

ところ 中川グラウンド
(福島県大沼郡金山町中川字沖根原)

会津中川駅から徒歩約3分のグラウンドに雪像が立ち並び、手打ちそばや田楽などの売店が登場！ ステージショーや雪上ゲーム大会、金山町の特産品が当たる大抽選会なども開催予定です。金山町の公式キャラクター「かぼまる」も登場し、皆さんをおもてなしします。

☎ 金山町観光物産協会 TEL 0241-42-7211

ただでん通信

只見川電源流域振興協議会（通称：ただでん）では、さまざまな事業を実施しています。主催・共催事業の最新情報はホームページでも随時公開しています。ぜひご参加ください。

参加者募集

奥会津版 地域まんだらをつくろう

「地域の課題や可能性を知りたい」「地域を良くしたいけれど何をすれば良いかわからない」という方におすすめのワークショップを開催します。地域の課題や資源、未来に向けて必要なアクションを分かりやすくまとめた一枚の絵図「地域まんだら」を、多様な視点を持つ参加者同士の対話を通じて作ってみましょう。

対象

奥会津地域の民間事業者・住民・行政職員（地域づくりに興味のある20～40代の方など）

定員

30名程度

参加費

無料



Day1

満員御礼

2023年12月17日(日) 13:30～16:00 会場 三島町生活工芸館

テーマ 「地域」と「わたし」について考える — 地域は、誰のものなのか —

ゲストスピーカー Future Research Institute 代表取締役・編集家 紫牟田 伸子 氏



Day2

2024年1月21日(日) 13:30～16:00 会場 シェアベース昭和村

テーマ 人と人のつながりの可能性を考える — “地域資源”とは何か —

ゲストスピーカー NPO法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長 稲垣 文彦 氏



Day3

2024年2月18日(日) 13:30～16:00 会場 みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」

テーマ 「はたらく・くらす・生きる」を考える — 地域のための経済循環とは —

ゲストスピーカー 奥会津地域で活躍する方々



☎ 只見川電源流域振興協議会 TEL 0241-42-7125

申し込み方法



こちらの入力フォームからお申し込みください。

参加者募集

奥会津体験博覧会「せど森の宴」

開催期間

2023年10月1日～2024年2月末頃

奥会津地域の人々が主役となり、身の回りにある「奥会津ならではのモノ」を活かして、普段は見えにくい「奥会津だからこそその良さ」に触れる様々な体験プログラムを提供するイベントです。



体験プログラムの例 ※定員に達し次第、予約受付終了となります

【檜枝岐村】

伝統芸能「檜枝岐歌舞伎」に気軽に触れる、はりこ給付け体験
開催日：随時予約受付中 参加費：1人1,100円

申し込みはこちら！

【南会津町】

鹿革からキーケースをつくろう！
南会津で鹿革の小物作り体験（昼食付き）
開催日：2024年2月24日(土)・25日(日)
参加費：1人6,000円



☎ せど森の宴運営事務局（株式会社SATORU）
TEL 050-3695-3106（受付時間 10:00～18:00）



情報誌「つなぐ奥会津」のご意見・ご感想をお待ちしています！

郵便 〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933番地
（奥会津振興センター内） 只見川電源流域振興協議会 宛て

Eメール tdrsk@okuaizu.net



自然の中に暮らすいとなみ、100年先のみらいへ。



只見川電源流域振興協議会

〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933番地
東北電力奥会津水力館「みお里」奥会津振興センター内
TEL 0241-42-7125 FAX 0241-42-7127
Eメール tdrsk@okuaizu.net

※本誌は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。

奥会津とは？

福島県の奥の奥——。深い山々と美しい川に囲まれた会津地方の南部に位置する7町村は、「奥会津」と呼ばれています。冬はたくさんの雪が降り積もる豪雪地帯であり、各地域には奥会津の風土に育まれた豊かな文化が継承されています。